

# ただいまセカンドライフ少年記！！

平成 19 年（2007 年）3 月に最終勤務地の守口市で定年を迎えて自宅がある高松市へ 13 年ぶりに戻ってきましたが、現在も【〇〇暇なし！！】で仕事をしていますので、生活リズムも定年退職前と特に変化がなく、特別に記述する事はありませんが、近況をお知らせします。

定年前には定年になったら先輩諸氏が言われる「晴耕雨読」の生活を予想していましたが、団塊の世代と言われる我々が 60 歳定年退職する頃から、定年延長する会社の増加や年金支給開始年齢が段階的に繰り上げとなりました。

定年直後は明石市から高松市へ転居して自宅の荷物の整理や家回りの環境整備の生活でした。

平成 19 年（2007 年）6 月から現役時代と同様の仕事をする事になりました。

平成 23 年（2011 年）3 月に会社の完全子会社化による組織改革の情報を得て退職しました。

その後 1 年間休職後に知人の紹介により新規事業の会社経営支援で現在まで勤務をしています。

定年後は旅行、家庭菜園、コミュニティセンターでの学習、スポーツをする機会にめぐまれました。

## 1. 旅行

日本国内勤務の時は、家族で旅行をする時は日帰りか 1、2 泊が普通でしたが、北京へ駐在していた平成 8 年（1996 年）4 月から平成 12 年（2000 年）3 月までの 4 年間の長期休日取得時は日本国内各地を幾度か旅行で過ごしました。

北京での駐在当時の祭日は、元旦【1 日】、春節（旧正月）【3 日】、五一節（メーデー）【3 日】、国慶節（10 月 1 日）【3 日】、婦人節【半日】と青年節【半日】合わせて【1 日】が基本になっており、日本の様に毎月に近い祭日は無かったですが、勤務先での春節は前週の土曜日から翌週の日曜日の 9 日間が恒例になっていました。遠い地方から都会へ出稼ぎの他業種の中国企業の人々は 2 週間位の休暇を取って、長距離列車・バスで 1 年間に 1 回帰郷されていた様です。

私は正月、旧正月、ゴールデンウイーク、夏休み、国慶節はできる限り帰国していました。

平成 12 年（2000 年）4 月に帰国（住居：明石市）してからは義姉夫婦と毎年 11 月か 12 月に兵庫県日本海側の香住（現香美町）へ民宿での一泊蟹料理の旅をしています。最近の 5 年間は山口県の河豚料理と交互に行っています。

定年後は家内と海外旅行へ行く機会がありました。

旅行でも乗り物だけでなく極力普段の運動不足を補う為、オプションでハイキングがあれば常に選択しています。

(1) 秋彩カナダ 8日間 平成 19 年 (2007 年) 10 月 9 日～16 日

関西空港⇒バンクーバー⇒モントリオール (飛行機移動)

モントリオール市内観光ーノートルダム大聖堂、セント・ジョセフ礼拝堂

世界遺産ケベック観光 ローレンシヤン高原

モントリオール⇒トロント (飛行機移動) トロント市内観光 ナイアガラ

トロント⇒カルガリー (飛行機移動)

カナディアンロッキー バンフ国立公園観光

カルガリー⇒バンクーバー⇒関西空港 (飛行機移動)

長時間の飛行機移動は最初でしたので、機内での時間の過ごし方は睡眠だけでなく、機内テレビ・ゲームの他に DS を利用して退屈な時間を避けてきました。

食事は日頃当然日本食中心ですので、海外旅行は覚悟して行きますので殆ど完食しましたが、日本食幕の内弁当が一番口に合いませんでした。

バンガロー風の宿泊では近くのコンビニで買物をして小パーティーで盛り上がり、別ホテルで持参の電気ポットで持参のレトルト食品を加熱中に電源ブレーカーが飛び、日本と違う電源盤のブレーカー位置が分からずホテルマンの厄介になりました。

(2) スイス・アルプス 3 大名峰と氷河特急の旅 8 日間

平成 22 年 (2010 年) 7 月 15 日～22 日

関西空港⇒パリ⇒ジュネーブ (飛行機移動)

エギュー・デュ・ミディ展望台 (ロープウェイにて標高 3,842m) モンブラン鑑賞

世界遺産ラヴォー地区散策

ツェルマット 【マッターホルン麓の町】 (列車移動)

ゴルナーグラート (列車移動) 展望台、(ハイキング) マッターホルン鑑賞

アンデルマット (氷河特急で鑑賞)、ルツェルン観光、ウエンゲン

ユングフラウヨッホ スフィンクス展望台 (ヨーロッパ最高標高 3,571m 駅)

クライネシャイデック (ハイキング)

世界遺産 ラ・ショー・ド・フォン 国際時計博物館

ヴェーデスアルプ、世界遺産ベルン観光

チューリッヒ⇒パリ⇒関西空港 (飛行機移動)

全般的に天候に恵まれて全行程に亘って堪能できました。

関西空港からパリ空港まではエールフランス航空便でしたが、6 歳の日本人男児が 1 人で搭乗しており、機内での時間の過ごし方が堂々として慣れており感心しました。パリ空港でジュネーブへの乗り継ぎ時に空港内で爆発事故があり、「テロ？」かど一時騒然となりましたが 30 分位で治まりました。

日本へ帰国直後 (7 月 23 日) に旅行中に乗った氷河特急が脱線して日本人が死亡し

たニュースを聞き、背筋が寒くなりました。  
食事はパン、チーズ中心でしたが完食できました。



湖に浮かぶ逆さマッターホルン アイガー、メイヒ、ユングフラウをバックに

(3) 秋のアラスカ大自然紀行 7日間 平成 24 年 (2012 年) 9 月 4 日～10 日

関西空港⇒アンカレッジ (飛行機移動)

プリンスウィリアム湾 氷河クルーズツアー

デナリ (アラスカ鉄道移動) デナリ国立公園

チェナ温泉 2 泊 オーロラ鑑賞

フェアバンクス⇒関西空港

旅行中全般に曇り・雨模様でしたが、オーロラ鑑賞時の外気温は 2 晩共に 0℃位で晴れて、北斗七星、オーロラを美しく鑑賞できました。

食事は全般的に好評で特に氷河クルーズ船内でのローストビーフと氷河の氷を入れたカクテルは格別に美味しく頂きました。

旅行会社 1 社のチャーター便の為か飛行時間も短く、移動もスムーズにできました。



チェナ温泉から見た 1 日目と 2 日目のオーロラ

## 2. 家庭菜園

定年直後、自宅は高松市郊外の 200 件位の団地の一角の為に庭のスペースも狭く、プランタンで茄子、胡瓜、トマトを育てる程度でしたが、1 年後に自宅から 2 km 位の所に家庭菜園ができる土地を知り、1 区画が空いており菜園を借りて現在に至っています。

1区画は約10坪（33㎡）位しかなく、スタートが11月で前借用者が花、木を育てていて半年休耕状態でしたので、最初は草抜き、スコップ・備中鍬で野菜用に耕作しました。

野菜の種類は玉葱、じゃがいも、法蓮草、人参、茄子、胡瓜、トマト、獅子唐、ピーマン、玉蜀黍、薩摩芋、枝豆、落花生、オクラ、里芋、大根、かぶ、サヤエンドウ、スナップエンドウ、きぬさや、大蒜、牛蒡、アスパラガス、葱、分葱、白菜、キャベツ、ブロッコリー等を収穫しました。狭い耕作地での少量多種で各作物の栽培期間、日照方向、連作良否等と休耕スペースができる限り少なくする為か、不出来の時もありますが収穫が楽しみとなりました。

大根・かぶは正月の漬物用に梅（庭のも加えて）・らっきょは購入して梅干し・梅酒・らっきょ漬けにして、3月は神戸勤務時代にイカナゴの釘煮方法をマスターしたので、新鮮なイカナゴを地元で購入して釘煮にして保存食としています。



家庭菜園



収穫した野菜

### 3. コミュニティセンター

平成23年（2011年）4月から1年間は休職状態となり近くのコミュニティセンターで学習しました。

- （1）北京での駐在期間は4年間でしたが、本格的に学習する機会が少なく自宅近くで中国人の中国語学習ができる事を知り受講しました。

1年後講師が帰国する事になり中断となりました。

- （2）同時にパソコン教室の開催があり、パソコンがWindows 7に買い替えていたので、レベルアップの為、3カ月受講しました。

### 4. スポーツ

学生時代は軟式野球・ハンドボールのクラブ活動をしていましたので、高松在住時代は子供（小学生）のソフトボール指導や親同士のソフトボール大会や北京駐在時代は住んでいたマンションでチームを作り日本人会ソフトボール大会に参加していました。定年後に帰郷して見ると、団地内200件も高齢化と少子化で野球・ソフトボールをするシニアや小学生もチームが出来る状態でない状況でした。

定年後5年間は洋友会で開催されるゴルフコンペに参加させて頂きましたが、1年余前

からはウイーディが仕事の為にご無沙汰していますので、徐々に復帰したいと考えています。

義兄が70歳を過ぎましたが、現中日ドラゴンズ高木守道監督と同時期（昭和34年）に甲子園の選抜大会に出場しており、現在でも全国シニアソフトボール大会で頑張っています。約40年前の高松勤務時代の上司も今年88歳になりますが全国テニス大会に参加され元気に過ごされているとの事です。

今後は夫婦とも仕事の量が減ったり無くなった時には、健康管理を中心に旅行、コミュニティセンターの利用、家庭菜園の拡充をして有意義な日を過ごして行きたいと思っています。

四国地区香川会員 野村錦一

リレーエッセイ第52回

ただいまセカンドライフ少年記！！

香川県会員 野村錦一さん投稿